

1 2月・師走 南田原・佐保姫の畑のまわりの草たち

霜を纏って体をこわばらせて縮んでいた草たちは、陽が上がると次第に元の体に伸ばし始めます。タンポポやスイバ、ナズナなどは、太陽の温みを少しでも多く受けようとロゼット状に葉を広げ、春を待ちます。畑は来春に向けた野菜づくりが進んでいます。霜を浴びてダイコンやニンジン、ハクサイ、キャベツなどは甘みが一段と増してきています。お正月飾りのハボタンは発色が鮮やかになってきました。

● ロゼット状の葉・タンポポの仲間



● 土手の霜



● アキグミの実(薄赤)



● アオツツラフジの実(ブルー)



● ヒヨドリジョウゴの実(赤)



● ヘクソカズラの実(黄金)

